春の山野草

節分草自生地に咲く花たち

フクジュソウ

セリバオウレン

イチリンソウ

カタクリ

アマナ

ユキワリイチゲ

キバナノアマナ

ニリンソウ

ヤマルリソウ

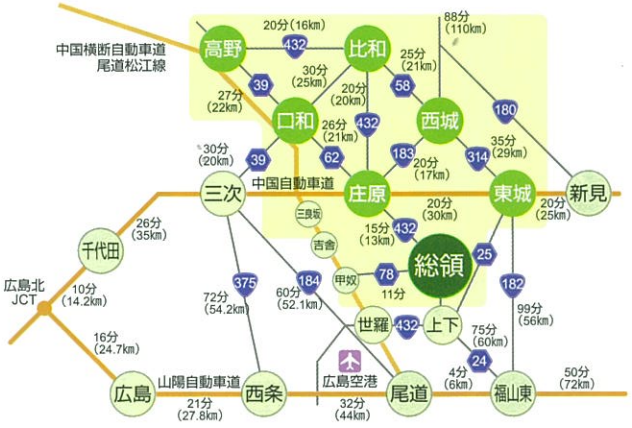
セツブンソウ（節分草） *Eranthis pinnatifida*

キンポウゲ科セツブンソウ属
庄原市天然記念物指定（1987年12月）
広島県レッドデータブック絶滅危惧Ⅱ類
環境省レッドデータブック準絶滅危惧種

キンポウゲ科セツブンソウ属セツブンソウに分類される多年草で、日本固有の可憐な山野草です。土質的にはアルカリ性を好み、山裾に群生することが多く、関東以西の中国地方まで自生しています。広島県内では東部にまれに自生地がありますが、現在では、ほとんど絶滅に近く、広島県では、絶滅危惧種に指定される貴重な種です。その中でも、庄原市総領町は日本有数の自生地です。

セツブンソウをはじめとする春植物は、夏草を刈らなければ咲かない花で、北向きの半陰地の林辺部を好みます。総領町に自生地が残ったのは、北向きの斜面に沿って農家や墓地があり、自生地の草が刈り続けられたためと考えられています。

総領町では、亀谷から木屋地区の田総川の左岸側の北向きの山裾に点々と自生地があり、（自生する地域:亀谷、下領家、稲草、木屋）開花時期は2月上旬から3月の下旬であるが、1ヶ所ある南向きの自生地は、節分の頃に開花します。



…人と自然の共存を求めて…

里山を楽しむ町

里山を楽しむ町イベント実行委員会事務局
広島県庄原市総領町下領家278（総領自治振興センター内）
TEL.0824-88-3067 FAX.0824-88-2021